

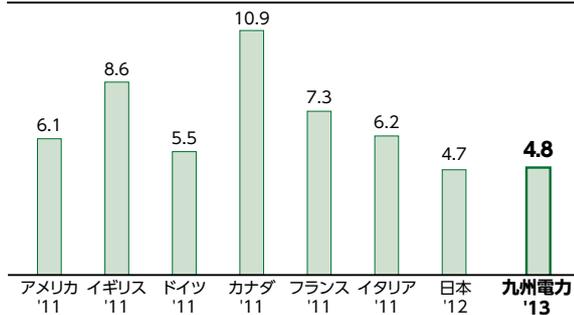
## (4) 送配電ロスの低減

送電線や配電線で失われる電気(送配電ロス)の低減への取組みは、効率良く電気をお客さまにお届けするために必要なことに加え、火力発電所の燃料使用量削減やCO<sub>2</sub>排出量抑制にもつながります。

これまでに送電電圧の高電圧化や低損失型変圧器の導入などの対策を実施してきた結果、当社の2013年度の送配電ロス率は4.8%となっており、国際的にも低い水準を維持しています。

送配電ロス率の各国比較

単位：%



出典：電気事業便覧(平成25年版)より作成

## 3 電気の使用面での取組み

お客さまの節電・省エネにつながる取組みを進めるとともに、当社自らや社員の家庭においても一層の節電・省エネ活動に取り組んでいます。

### (1) お客さまの節電・省エネにつながる取組み

#### ～ 一般お客さまに対する取組み ～

お客さまにムリなくムダなく上手に電気を使っていただく省エネルギーの提案を中心とした「省エネ快適ライフ」を推進しています。

#### ■ 省エネのPR

省エネ・省CO<sub>2</sub>活動に取り組んでいただく際に役立つ情報を、わかりやすく紹介したパンフレットをお客さまに配布するとともに、ホームページなどでも省エネのPRを行っています。また、各営業所のホームアドバイザーが、上手な電気の使い方などを紹介する講座を開いています。



パンフレット

#### ～ 法人お客さまに対する取組み ～

設備の運用改善や、ヒートポンプをはじめとする高効率機器への更新等による節電・省エネ提案など、エネルギーの効率的利用に資する活動を展開しています。



当社ホームページにおける省エネ関連情報

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > よくわかる電気の省エネ

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 省エネ関連情報・節電対策のご紹介  
> 技術開発における取組み

用語集を  
ご覧ください

- ステークホルダー
- 送配電ロス(率)
- ホームアドバイザー
- ヒートポンプ

## 節電へのご協力をお願いします。

日頃より節電へご協力いただき、誠にありがとうございます。

今夏の電力需給については、原子力発電所の再稼働がなく、電源開発(株)松浦火力2号機の運転再開が見込めない場合、あらゆる供給力対策を織り込むことで、安定供給に必要な予備力(予備率3%)を何とか確保できる見通しですが、昨夏より大幅に厳しい需給状況となることが予想されます。

このため、お客さまには、少なくとも、昨夏お取り組みいただいた節電を目安に生活・健康や生産・経済活動に支障のない範囲内で可能な限り、節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。

#### 【節電にご協力いただきたい期間・時間】

- ・期間：2014年7月1日(火)～9月30日(火)の平日(お盆期間8月13日～8月15日を除く)
- ・時間：9時～20時

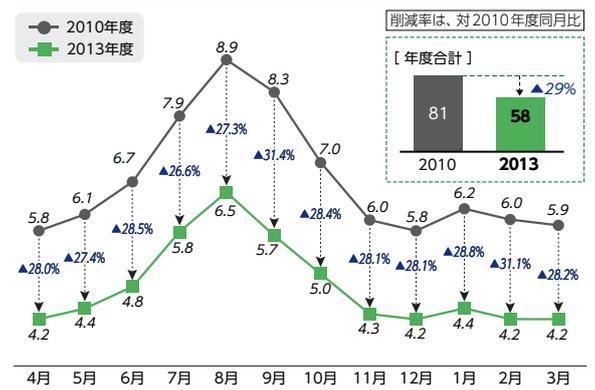
## (2) 当社事務所における節電・省エネへの取組み (オフィス電力使用量の削減)

当社では、これまでも省エネルギーに積極的に取り組んできましたが、厳しい電力需給等を踏まえ、2011年の夏から継続して、更に踏み込んだ節電にグループ一体となって取り組んでいます。

2013年度のオフィス電力使用量は58百万kWhとなり、2010年度比で約29%削減(▲23百万kWh)しました。さらに、今夏についても、照明・エレベーターの間引きやクールビズの拡大などに取り組みます。

全社オフィス電力使用量削減実績※

単位:百万kWh



(注) 四捨五入により、電力使用量の差と削減率は一致しない。  
※: 発電所や研究所など、オフィスのみの電力量が把握できない事業所を除く。

### 節電・省エネへの取組状況

| 項目       | 従来の夏季省エネにおける主な取組み                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------|
| 空調       | ・室内温度の目安: 28℃<br>・クールビズの励行 など                             |
| 照明・コンセント | ・事務室の昼休みの消灯及び会議室、トイレ等の使用時のみの点灯<br>・OA機器の効率の利用(退社時の電源切) など |
| その他      | ・近隣階(1~3階程度)へのエレベーター利用の自粛<br>・給湯器の省エネモードの活用 など            |



| 今夏(2014年度)の主な実施内容 |                                                                                                                               |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 空調                | ・室内温度28℃の徹底<br>・クールビズの拡大(襟付きポロシャツ、チノパン等)<br>・原則就業時間内の運転(昼休みの運転停止(食堂除く)、終業後の原則運転停止)                                            |
| 照明・コンセント          | ・事務室、共用スペース(廊下等)の間引き(50%以上)<br>・残業時の使用箇所のみ点灯<br>・パソコンの省エネモードの活用及びディスプレイ照度調整の徹底<br>・日中(晴天時)の可能な限りの消灯<br>・テレビ、充電器等の不使用时のプラグ抜き徹底 |
| その他               | ・エレベーターの間引き運転(始業前、昼休みを除く) [(例) 本店: 8台中3台を間引き]<br>・原則上下5階は階段利用<br>・給湯器、冷水機、温水洗浄便座(ヒーター)、エアタオルの停止<br>・原則ノー残業(残業時はエリア限定の点灯)      |

### ■ ビル・エネルギー管理システム (BEMS) の活用

事業所におけるエネルギー使用実態(時間帯別・用途別の電力使用量等)を見える化し、エネルギー使用の最適化を図るため、ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を14事業所(3支社・11営業所、2014年3月末現在)に導入しており、導入事業所でのエネルギー使用量の分析結果や機器の運用改善結果等について、適宜全社に周知・展開することで、着実かつ効率的な省エネへの取組みを進めています。

## (3) 社員の家庭における取組み

お客さまに節電・省エネへのご協力をお願いするにあたっては、当社自らがより一層の節電・省エネに取り組む必要があると強く認識しています。

このため、社員は職場だけではなく、各家庭においても、エアコン温度設定の調節やこまめな消灯などの節電や省エネに取り組んでいます。

### ■ 環境家計簿の活用

消費したエネルギーから排出されるCO<sub>2</sub>の量を「見える化」する当社の「みらいくんの環境家計簿」を活用し、電気のみならず、ガス、水道、ガソリン等についても使用量削減に努めています。

WEB 「みらいくんの環境家計簿」は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報(P2参照) > [みらいくんの環境家計簿](#)



当社ホームページ「みらいくんの環境家計簿」

用語集を  
ご覧ください

●ビル・エネルギー  
管理システム  
(BEMS)

●環境家計簿

### ■ 夏の節電アクションの展開

夏季の厳しい需給状況を踏まえ、2012年度から社員とその家族が自宅における節電の必要性を再認識し、家族一体となって節電に取り組む「きょうでん家族で取り組む『夏の節電アクション』」を展開しています。

2013年度は、約3千名の社員が参加登録を行い、各家庭での節電に取り組みました。また、参加した社員から取組結果を募集し、優れた取組みや参加した感想・メッセージ等を環境イントラネットで紹介することで、社内におけるノウハウの共有化及び意識高揚を図っています。



アルミ遮熱シートによる屋根への遮熱対策

寒冷紗(織り目の粗い薄地の綿布)による遮光対策



琉球朝顔による緑のカーテン



よしずによる遮光対策

## 4 省エネ・省資源活動の展開

社用車におけるCO<sub>2</sub>排出抑制やコピー用紙などの省エネ・省資源活動についても取組みを推進しています。

### (1) 社用車におけるCO<sub>2</sub>排出抑制への取組み

中長期的な地球温暖化対策の観点から、2020年度までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)の導入を目指しています。

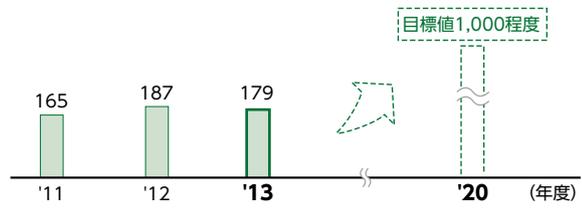
2013年度は、厳しい経営状況を踏まえ、新規導入を見送りましたが、一般車両約2,300台のうち、これまでに累計で179台\*を導入しています。

また、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などにより、一般車両の燃料消費率向上にも取り組んでおり、2013年度は、目標(12.0km/ℓ以上)を上回る12.4km/ℓとなりました。

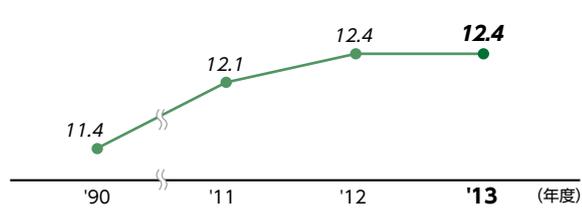
\*:電気自動車の廃車により、2012年度(累計導入台数187台)からは8台の減少

WEB 委託輸送に係る省エネへの取組みについては九州電力ホームページ 関連・詳細情報 (P2参照) > 委託輸送に係る省エネへの取組み

電気自動車導入台数(累計) 単位:台



一般車両燃料消費率 単位: km/ℓ

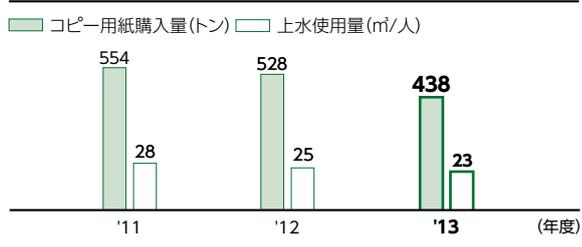


### (2) コピー用紙購入量・上水使用量の抑制

ペーパーレス化の推進や裏面利用、節水活動の徹底等により、「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」の抑制に取り組んでいます。

2013年度は「コピー用紙購入量」、「1人あたりの上水使用量」とともに2012年度を下回りました。

コピー用紙購入量、上水使用量の推移



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 地球温暖化
- 電気自動車
- プラグインハイブリッド車
- 低燃費車
- エコドライブ
- 上水